

2015 年度 讃頌会研修会

ただ念仏して—親鸞・法然からの励まし—

親鸞聖人は『正信偈』のなかで「煩惱を断ぜずして涅槃を得るなり」と説き、悩みの解決方法として煩惱を断つ必要性がないことを教えておられます。また『歎異抄』では「私・親鸞においては、『ただ念仏して阿弥陀如来に助けられなさい』という、よき人・法然上人のおっしゃったことを受けて、信ずるといふほかにはなにもありません」といい、「ただ念仏」というずいぶん頼りない感じのする実践修行が、法然・親鸞にとっては一番勝れている実践方法だとおっしゃっておられます。

しかし我々は親鸞聖人の教えを聞いていながら、どこか千日回峰行に代表されるような煩惱を断とうとする厳しい修行の方が念仏より勝れているのではないだろうかとか、ただ念仏だけ称えて本当に浄土に往生できるのであるかという疑問を捨てることができずにいるのではないのでしょうか。

今年の讃頌会は、同朋大学の菱木政晴先生をお迎えし「ただ念仏して—親鸞・法然からの励まし—」という年間テーマのもと、専修念仏の意味をもう一度確認することができる連続の研修会を開催します。お誘い合わせをご参加下さい。

講 題

- 期 日 1月22日(金) 専修念仏とはどんな仏教か
- 2月22日(月) 極楽の人数
- 3月22日(火) 真宗門徒の社会生活

- 時 間 14:00~16:00 (3回とも同じ時間です)

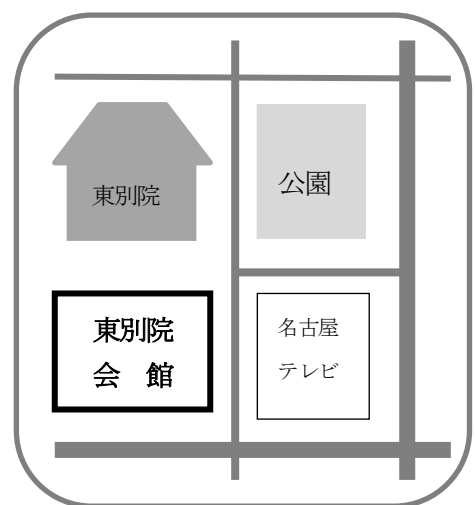
- 講 師 菱木 政晴 氏 (同朋大学特任教授・宗教学者)

- 参加費 1,000 円 (1回)

- 会 場 東別院会館・2F 蓮の間
(中区橘2-8-45 Tel.052-331-9576)
地下鉄名城線「東別院」4番出口

※讃頌会交流研修会の予定

- 5月27日(金) 14:00~18:00
- 講 師/菱木 政晴 氏 (同朋大学特任教授)
- 講 題/ただ念仏して
- 会 場/東別院会館・2F 蓮の間



前回黄色のチラシでお知らせした交流研修会の日程が5/13から5/27に変更になりましたのでご注意ください